

岐阜農林高等学校

演劇部公演会

戦争 農業の凄さとか 命の大切さとか 俺は農業のことが好きだ。武器を持たずに戦った。戦場を農場に塗り替えた男

なんかに負けたらあかん。 野菜とか花は命やろ。 生きとらん、未来のためにやるんやないか。

若者を、戦場に送るのは、いつも、地位のある、老人や。 武器を、理不尽に、抗いたい。

農業は命をやる。 大人にはなれなかった。悲しんで、悲しんで、もう一度、立ち上がるしかない。

背負った夢 最低ではおれなかったもんでな。 武器は農具は やない。

よく、生きとってくれたな。 農業は、人の、自然な、日々の営み、やとおもうんよ。



1990年、岐阜県の農家に生まれ、農業高校を卒業し、農業大学に進んだ男は、そこで、彼の生涯を左右する友人たちと出会う。人は多くの人たちとの出会いの中で、多くを学び、影響を受け、その先に自分を見つけ、作り上げてゆく。それは、逆に言えば奇跡的な出会いが一人の人間を作り上げているということ。この物語は、この男を作った人たちの、愛と情熱の物語。戦場を農場に塗りかえた男の、始まりの物語。

どうか世界が、永遠に、平和でありますように。

作：岐阜農林高校演劇部

日時 令和5年12月17日(日)
開場 午後1時30分 開演 午後2時

会場 本巢市民文化ホール (本巢市軽海 718 番地)

入場料 **無料**
要入場整理券
全自由席

未就学児入場不可

入場整理券配布開始日
・配布場所

11月3日(金)

- ・本巢市民文化ホール、市内各公民館 午前9時～午後4時
※休館日(月曜日、月曜祝日の場合火曜日)を除く
- ・社会教育課(真正分庁舎2階) 午前8時30分～午後5時15分
※土・日・祝日を除く。

入場整理券は1人4枚までとし、なくなり次第、配布終了となります。